第４号

北九州市教育委員会 幼児教育センターだより

〒806-0044
北九州市八幡西区相生町 20 番１号
TEL 093-641-2030
FAX 093-641-2031
＊ホームページはこちらから

令和6年6月13日 発行

第１回夕方オンライン講座を行いました。

大型テレビで映せば、園内研修にも活用できますよ。

　このタ方オンライン講座は幼児教育施設の先生方、小学校の先生方、特別支援学校の先生方、皆様で、幼児教育について講座を視聴したり、日頃の取組について語り合ったりしながら、保育・教育の楽しさや喜びを皆様で分かち合えたらと思い計画を立てています。

　記念すべき第１回の夕方オンライン講座は行橋市から、きらきら星幼稚園の黒田（くろだ）秀樹（ひでき）園長先生に「人的環境としての教師の関わり」について話をしていただきました。

【幼児教育アドバイザー：黒田秀樹先生のご講話より】

　環境は設定するのではなく、構成するものです。教師は人的環境として大きな意味をもっています。

～episode 園庭でおよいでいた、みんなでつくった大きなこいのぼり～

降ろした後、先生が「このこいのぼり、どうする？」と子どもたちに尋ねました。子どもたちは話合いを始めました。

幼児：「じゃんけんして順番に持って帰るのはどう？」　幼児：「いやだ。ぼくはじゃんけんが弱いもん」

幼児：「切り分けて、みんな持って帰るのはどう？」　幼児：「切るなんてかわいそうだよ」

幼児：「切るんじゃなくて赤ちゃんになるんだよ。だからいいんじゃない？」

幼児：「賛成！」「賛成！」「家の人に手伝ってもらって、飾ったらいいよね」

　それに決まりかけた時、

幼児：「僕のお母さんは、お仕事が忙しくて飾ったりしないもん・・・」

　先生はその子のお母さんがお迎えに来た時に、そっと話をしていました。

　次の日、その子が嬉しそうに、「先生、見て！」と割りばしにつなげた小さなこいのぼりを持ってきました。　私は後で担任に尋ねました。

園長：「もし話合いがまとまらなかったらどうするつもりでしたか？」

担任：「卒園するまで（話合いを）やります」

私はこの先生は子どもたちの話合いをまとめる力があることを「信じているんだなあ」と思いました。・・・

・・・参加されたみなさんの声・・・

○ 教師としての在り方や子どもと関わることでどのような言葉掛けをすればよいのか、事例をもとに学ぶことができました。
（幼稚園　教諭）

○ 黒田先生はじめ、きらきら星幼稚園の先生方の子どもへの眼差しがあたたかいと感じました。子どものそばにいる「共感者」という言葉を大切にしたいです。
（特別支援学校　教諭）

○ 最後の事例であったように「子どもたちを信じる」ことは、日々の保育の中でも意識していきたいと思います。
（幼稚園　教諭）

○ 人的環境によって子どもたちの学ぶ姿や伸びていく姿が変わっていくことについてとても共感できました。自分も小学校の支援学級で日々子どもの自立と主体性を促すための指導や支援について励んでいきます。
（小学校　教諭）

○ 幼児の様子がわかるエピソードをたくさん交えながらお話してくださってわかりやすかったです。本園では、みんなで大型画面で視聴したのですが、黒田先生のエピソードに激しく頷きながら、時には大笑いしながら楽しく学ぶことができました。
（幼稚園　園長）

○ 子どもに対して「自ら育とうとしている人間への尊重がそこにあるか」という視点を大切にして保育をしていきたいです。
（幼稚園　教諭）